



### 『正義の申し子』

染井 為人 著

リアルでは引きこもりだが、ネットではカリスマユーチューバー“ジョン”として活躍している純。ある日、悪徳請求業者に電話をかけ、おちよくる配信をする。キャラの濃い関西弁男を懲らしめた動画は大好評。動画の餌食となった悪徳業者の鉄平はジョンを探し出して“シバきあげよう”としていた。やがて二人は巡り合うが、思わぬ方向にトラブルが広がっていく。



### 『夏空白花』

須賀 しのぶ 著

1945年の夏、敗戦により誰もが呆然としていた中、朝日新聞社に乗り込んできた男がいた。全てがなくなった今こそ、戦争で中止されていた、「高校野球大会」を復活させなければならぬと。ボールも球場もないが、それでも甲子園で野球をしたいという人々の祈りが不純な動機で動いていた記者の神住<sup>かすみ</sup>を全国に奔走させるが、そこに「高校野球に理解を示さない」GHQの強固な拒絶が立ちふさがる。



### 『四十歳、未婚出産』

垣谷 美雨 著

40歳を目の前にして思わぬ妊娠をした、旅行代理店勤務の優子。お腹の子の父親の1回り年下のイケメン部下、頭の古い田舎の母親、「腹ボテ」と言うパワハラ上司、不妊治療に悩む同僚、若さを誇る美人社員…。お腹は大きくなるけれど、本当のことはなかなか言えない、このままシングルマザーとしてやっていけるのか。



### 『七〇歳年下の君たちへ』

五木 寛之 著

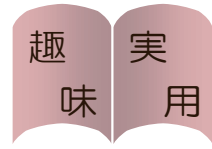
才能の質量は人によって違いますか？何を「生きる目的」としてありますか？3. 11から気づかされたことはありますか？人生の裏街道を知るにはどうしたらいいですか？10代半ばの悩み多き少年たちに、70歳年上の人生の先輩が「時代を生き抜く術」を丁寧に示した奇跡の講義録。



### 『大ぼら吹き之城』

矢野 隆 著

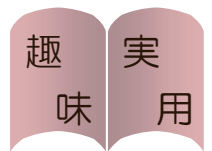
<sup>このがしら</sup> <sup>とうきちろう</sup> 小者頭の藤吉郎は、今川義元の軍勢との戦いに際し織田信長に同道するが、なかなか出世は見込めない。だが、西美濃侵攻に際し、信長から木曾川の川筋衆の頭目・蜂須賀小六<sup>はちすかころう</sup>の調略を命じられる。小六の許へ乗り込む藤吉郎だが、信長を嫌う小六を簡単に丸め込めるはずはなかった。



### 『不機嫌は罪である』

齋藤 孝 著

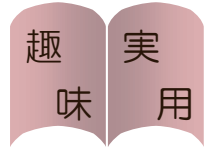
SNSで、レストランで、電車で、あらゆる場面で不機嫌をさらす人が絶えません。そんな不機嫌が蔓延し、社会の空気を淀ませて、全体のパフォーマンスを低下させています。昔は許されていた不機嫌も、現代では不機嫌であるということ自体が罪である時代になったのです。不機嫌の危険性と共に不機嫌をコントロールする方法を紹介。



### 『じゃ、また世界のどこかで。』

近藤 大真 著

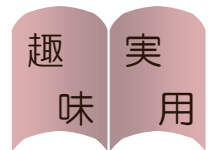
「じゃ、また世界のどこかで！」前歯を折ったり、お金が尽きかけたり、それでもたくさんの人と挨拶を交わし、ときに助け合い、ときに朝まで語り明かす。世界を一周してきた写真家の著者が感じた世界の広さや美しさ、笑顔の暖かさを写真とともに教えてくれる大人気世界一周ブログ「撮って 笑って 旅をして」が待望の書籍化！



### 『紛争地の看護師』

白川 優子 著

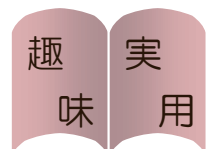
「国境なき医師団」看護師として過去8年間でイラク、シリア、イエメン、スーダンなどの紛争地帯に派遣された著者。著者を過酷な環境に駆り立てるのはいったい何なのか。国、国境、人種を超えた同じ人間としての思い、生と死の極限における医療についてありのままを伝えます。



### 『歌う鳥のキモチ』

石塚 徹 著

鳥がどんな気持ちで歌っているのか、興味ありませんか？歌い手と聞き手がいて成り立つ歌は鳥たちの社会行動で、鳥たちの私生活をのぞく糸口になります。鳥の歌に関する素朴な疑問や著者の観察レポートから、イキイキとした鳥たちの生活を追いかけてみます。



### 『おいしいヴィーガン パイ&キッシュ』

阿部 静 著

ヴィーガンとは動物由来の素材を使わない完全菜食主義のことです。著者が保育所の給食調理をしていた時、アレルギーのためみんなと同じおやつを食べられない子どもがいることを知り、ヴィーガンを見直すきっかけとなりました。卵、乳製品、白砂糖を使わない、美味しいレシピを紹介します。